

1時間に一人が192個を数え、11時30分からは毎分約1000個、11時55分最盛で、毎分2400個に達した。ある観測者は、同時に多数の流星が飛ぶので、流星輻射点が見えるようで、見ていると地球が空間の獅子座の方向に動いているような感じがしたとのことである。

カリフォルニアでは11時50分から流星雨の出現最高で、毎秒約10個、約30分間つづき、12時30分にやや衰えた。

ニューメキシコでは11時45分、毎秒15個、12時0分、毎秒25個、これは毎時9万個になる。コロラドでは最盛期には毎秒10個以上、テキサスでは11時45分が最盛、オクラホマでは10時45分から12時15分まで1914個を変えた。各地で観測した放射点は

赤径	10 ^h 11 ^m	赤緯	+21°7
	10 06		+21.5
	10 10		+21.5
	10 05		+19.5

アメリカ東部の観測者もかなりの出現を見ているが、上記の最盛の時間は、日出になってしまっていて見えなかったようである。(下保)

らしんばん座Tの増光 この星は回帰新星として知られ、平常は約14等であるが今までに1890年(7.9等)、1902年(7.3等)、1920年(6.6等)、1944年(7.1等)

と4回増光したことがある。

ニュージーランドのジョーンズは昨年12月7日12.9等であったこの星が、9日9.1等に増光しているのを観測した。スミソニアン天文台のソロモンは、ペーカーナンカメラのフィルムから、しだいに増光しているといっている。すなわち12月11日、8.5等、13日8.1等、15日7.8等で、これは数回の観測の平均の実視等級である。(IAUC. No. 1986, 1993).

位置は、赤径 9^h2^m36^s 赤緯 -32°10'5 (1950.0) である。(下保)

学会会計係よりお願い

今までしばしば、会員より学会に送金される際に、郵便切手を送って納金に替える方があります。少額の送金でも、この方法で納金をされますと、会計の扱い上大変困りますので、現金書留、振替、為替等の方法で御送金下さいませよう、平に御願申し上げます。

西村製の

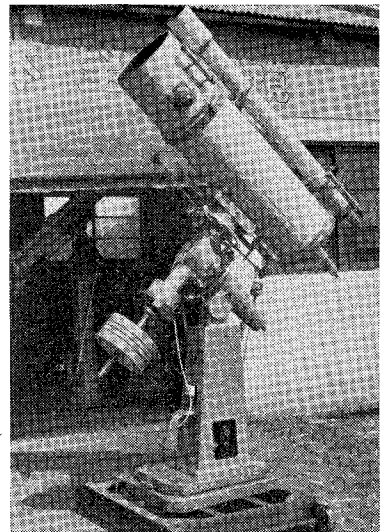
30 cm 反射望遠鏡

下記へ納入して好評を博しております

- 米 ゴッダード・スペース・フライト・センター
ハインド J R短期大学
ムレ大学
- 英 オックスフォード大学
- スイス バーゼル大学

株式会社 **西村製作所**

京都市左京区吉田二本松町 27
電話 (77) 1570, (69) 9589



30 cm 反射望遠鏡

ニュートン・カセグレン兼用